

1 りんご 新品種「千秋」

(園試, 果樹部)

ジョナゴールドの前に収穫販売できる中生種である。甘酸適和した果汁が多く食味が極めて優れ、とくにわい化栽培において優秀性を発揮する。

(1) 背景とねらい

現在栽培されているりんご中生種の主なものは、紅玉、スターキング、レッドゴールド他に陸奥、ゴールデンがあり、最近、ジョナゴールドが食味の優れていることや、豊産性であることから注目され増殖されている。

これら中生種のうち、スターキングやレッドゴールドは貯蔵性のないことや酸味が少ないことなど食味が劣るとして消費者から敬遠されがちであり、陸奥、ゴールデンなども外観本位の有袋栽培のため、品質低下(果実内容)が著しく消費が減少傾向となっている。

かかる見地から、食味の優れた中生新品種を検索していたところ、消費者の嗜好に適する品種として千秋をみいだしたので奨励したい。

(2) 技術内容

千秋の特性

1) 収穫期 9月下旬～10月中旬

2) 果実

① 大きさは250～280gの中玉

② 果形は円形～長円形

③ 着色は鮮紅色～褐紅色で外観良好

④ 果実内容、果肉はち密で歯ざわりが良く、糖度14%、酸度0.5%前後と甘酸適和で果汁多く、食味さわやかである。

3) 貯蔵性は常温で約1ヶ月

4) 樹姿は開張性で葉は細長く、樹勢は旺盛、主要品種との交配親和性は高く、結実性が高い。しかもスターキングのような早期落果(ジュンドロップ)や収穫直前落果も殆んどなく、落果防止剤の散布は必要がない。

5) 適応地域

県下全域

(3) 指導上の留意点

1) 本種は250～280gの中玉種であるが、過着果では、小玉(150～200g)になり、減収となるので早期適果、適正着果(4頂芽1果)につとめ生産安定をはかる。

- 2) 9月20日頃になると果実全面に着色し、糖分も14%位となるが着色が良く、糖分が高いからといって早採りすると酸味が強く、食味が劣るので、収穫時期を誤らないようにする。
- 3) 果色は無袋で鮮紅色～褐紅色で外観が優れているので、有袋栽培は行わない。
- 4) 病害では、斑点落葉病の罹病性がふじと同程度なので、防除にあたっては、ふじ同様の扱いとする。
- 5) 収穫期が遅れると果面が油質性となるので注意する。

(4) 試験成績の概要

- ① 千秋の発芽、開花など生態調査では、つがる、スターキングなどと同時期である。
- ② 果実の外観および内容等、収穫時期についてみると、外観では、9月20日頃で全面鮮紅色に着色し、糖度では14%以上となった。一方、酸度は収穫時期の早いほど強く、遅くなるにしたがって減酸の傾向がみられ、10月上旬が0.5%前後となり、甘酸適和し、食味はすぐれていた。
- ③ 果重分布についてみると、昭和55年産では最も大きい果実が350gで最小は150gとなり収穫果全体の平均果重は230gとやや小さめの果実であった。
 なお、本種の特徴として150g小果でも300gの大きい果実でも食味に大きな差異のないことが他の品種にはない優れた点としてあげられる。
- ④ 10月上旬に関係者で試食した結果は、外観、食味ともに好評を得、将来性についても有望との結果を得た。

病虫害では特に問題がなく、斑点落葉病についてもふじとほぼ同程度の罹病性であり、スターキングなどに比較し、抵抗力が強く防除が容易である。

表1 生態調査 (昭和55年)

| 品種 | 項目 | 調査樹齢 | 発芽期 | 開花始 | 1樹当り 収量 | 収穫期 |
|-------|----|-----------|-------|-------|------------|---------------|
| 千 秋 | | 4年生(M26台) | 4月12日 | 5月15日 | 7.5 kg | 9月20日～10月10日 |
| つ が る | | " (") | " | 5月14日 | 3.7 kg | 9月 7日～ 9月15日 |
| 紅 玉 | | " (") | " | 5月15日 | 9.4 kg | 10月 5日～10月20日 |

表2 収穫時期別果実内容 (昭和55年産果実)

| 品 種 | 収 穫 時 期 | 調査果平均重 (g) | 糖 度 (%) | 酸 度 (%) | 硬 度 (lbs) |
|--------|---------|---------------|------------|------------|--------------|
| 千 秋 | 9月20日 | 190.6 | 14.1 | 0.70 | 16.9 |
| | 9月25日 | 235.0 | 14.5 | 0.67 | 16.0 |
| | 10月 2日 | 212.7 | 15.0 | 0.66 | 15.2 |
| | 10月 9日 | 210.5 | 14.6 | 0.51 | 14.5 |
| | 10月15日 | 231.0 | 14.6 | 0.45 | 13.9 |
| | ※10月22日 | 195.4 | 12.0 | 0.27 | 12.6 |
| スターキング | 10月 7日 | 290.0 | 13.6 | 0.23 | 15.8 |
| 紅 玉 | 10月15日 | 206.0 | 14.6 | 0.80 | 17.2 |
| ふ じ | 11月 4日 | 310.0 | 15.6 | 0.31 | 17.6 |

注) 調査果は定植3年目M26台使用樹結実果

※ 丸葉台使用スターキング樹に高接ぎ2年目の結実果

表3 収穫果の果重分布 (昭和55年産果実)

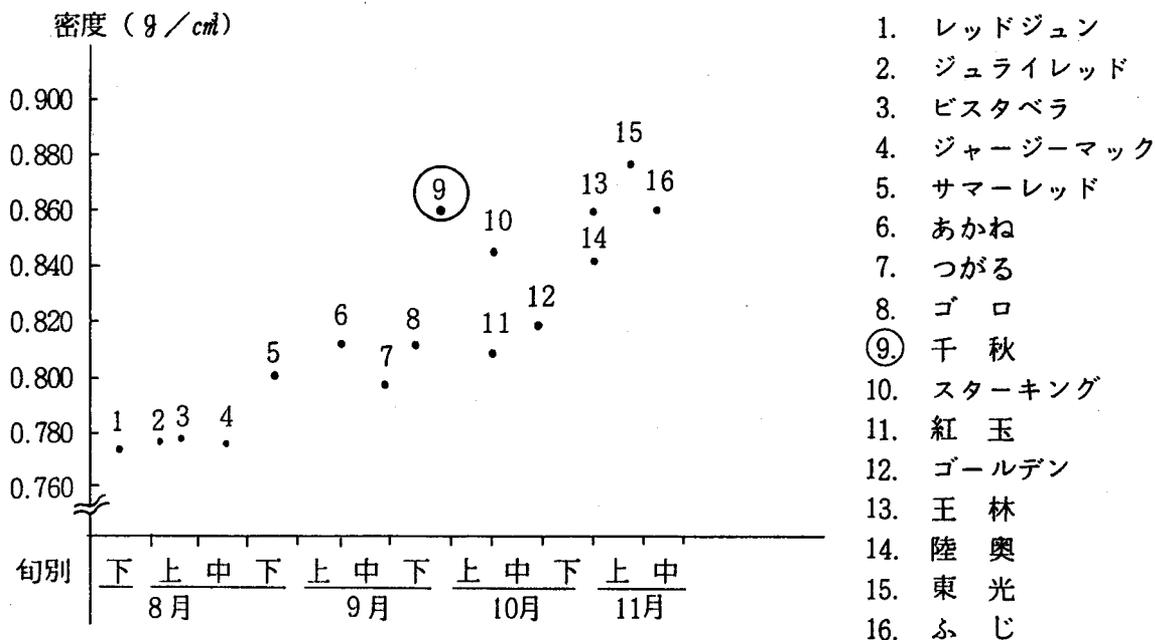
| 収穫果1ヶ重 | 350g | 300g | 250g | 200g | 150g |
|--------|------|------|------|------|------|
| 調査果数 | 1 | 29 | 93 | 112 | 23 |
| % | 0.4 | 11.2 | 36.0 | 43.4 | 9.0 |

表4 果実の大きさと果実内容 (昭和55年産果実)

| 果実の大きさ(g) | 糖 度 (%) | 酸 度 (%) | 硬 度 (lbs) |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 150 | 14.2 | 0.59 | 16.2 |
| 200 | 14.6 | 0.46 | 14.6 |
| 250 | 14.2 | 0.54 | 14.2 |
| 300 | 14.2 | 0.42 | 13.1 |

注) 10月2日収穫果, 10月27日調査

図1 成熟時の品種別果実比重 (1979 秋田果試)

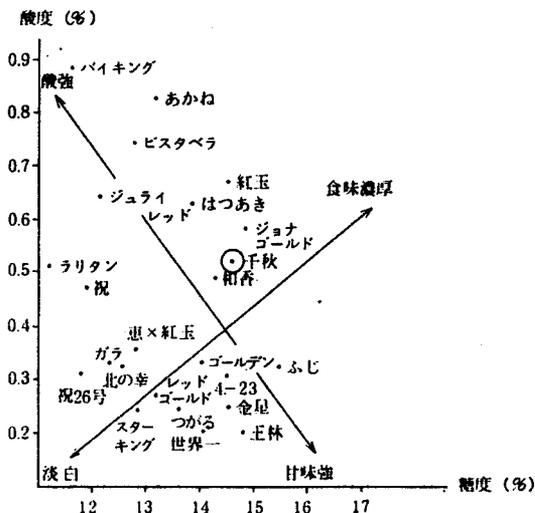


注) 直示天秤に比重測定装置をつけ、収穫直後に測定した。

表5 千秋の貯蔵性

| 収穫後の貯蔵法 | 調査果平均重 (g) | 糖度 (%) | 酸度 (%) | 硬度 (lbs) | 備考 |
|----------------|------------|--------|--------|----------|------|
| 常温収穫時(10月2日) | 212.2 | 15.0 | 0.66 | 15.2 | |
| 〃 30日後(11月2日) | 236.4 | 15.4 | 0.34 | 13.4 | 油質性少 |
| 〃 45日後(11月17日) | 208.0 | 14.8 | 0.34 | 11.9 | 油質性中 |
| 〃 60日後(12月10日) | 215.2 | 15.0 | 0.35 | 12.1 | 〃 多 |
| 冷蔵30日後 | 235.7 | 15.2 | 0.43 | 14.1 | 油質性少 |
| 〃 45日後 | 251.7 | 15.0 | 0.43 | 10.7 | 〃 中 |
| 〃 60日後 | 271.0 | 15.1 | 0.40 | 12.1 | 〃 多 |

図2 りんご主要品種の甘酸分布



注 1) M26台使用樹収穫果
2) 無袋果

注 1) M26台使用樹収穫果

2) 無袋果

病害について

表6 斑点落葉病

| 品 種 | 調査葉数 | 発病葉数 | 発病葉率(%) | 病斑数 | 一葉当り 病斑数 |
|--------|------|------|---------|-----|-------------|
| 千 秋 | 625 | 25 | 4.0 | 32 | 0.05 |
| スターキング | 812 | 346 | 42.6 | 707 | 0.87 |
| ふ じ | 775 | 25 | 3.2 | 45 | 0.06 |

表7 赤星病

| 品 種 | 調査葉数 | 発病葉数 | 発病葉率(%) | 病斑数 | 一葉当り 病斑数 |
|--------|------|------|---------|-----|-------------|
| 千 秋 | 625 | 5 | 0.8 | 5 | 0.01 |
| スターキング | 812 | 10 | 1.2 | 10 | 0.01 |
| ふ じ | 775 | 10 | 1.3 | 10 | 0.01 |